

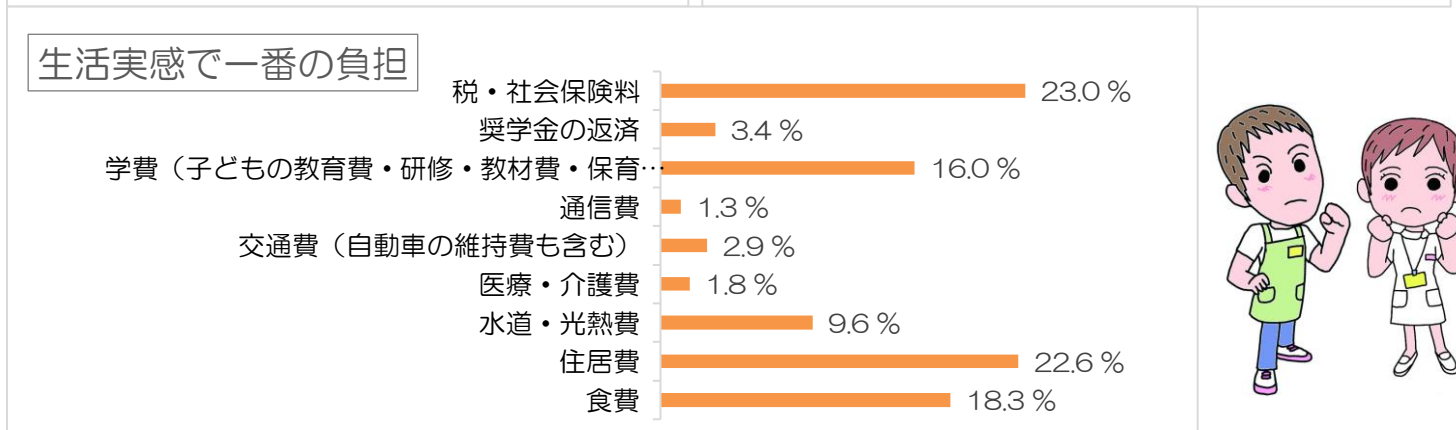
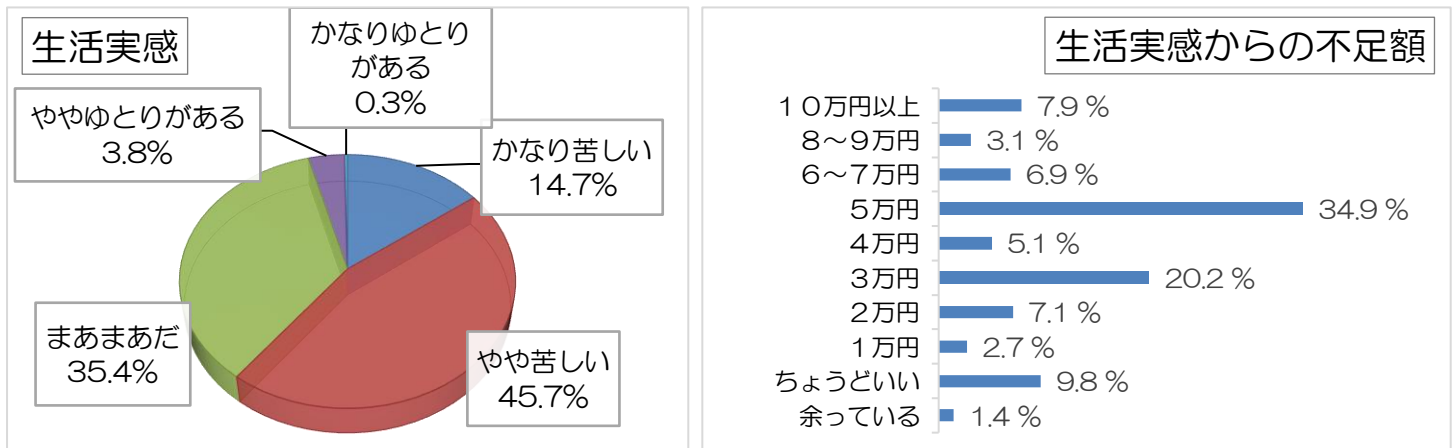
～23春闘 働くみんなの要求アンケート・まとめ～

(集約数:14組合・2,179人)

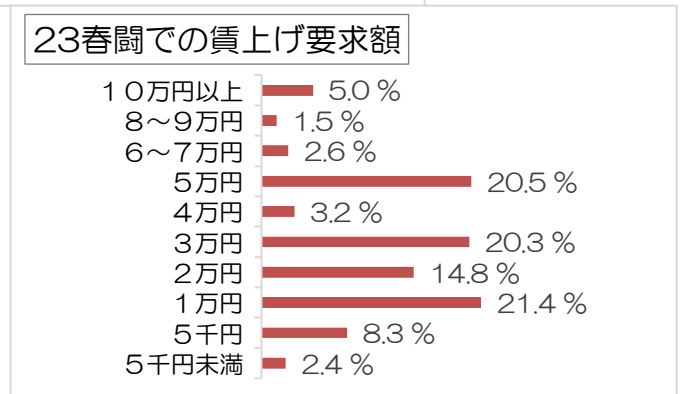
23春闘は大企業を中心に賃上げ回答が出されていますが、医療・介護分野での賃上げは進んでいない状況です。この間の処遇改善策は、対象は限定的ですすべての医療・介護労働者の処遇改善につながっていません。新型コロナウイルス感染症は一時期に比べれば落ち着いているとはいえ未だに収束せず、現場の負担は大きいままです。労働に見合った賃金でなければ、働き続けられません。現場実態を知らせて、大幅賃上げ・大幅増員を経営者・自治体・国に要求していきましょう！

生活実感からの賃金不足額は**43,271円**(昨年比+1,423円)

生活実感「かなり苦しい」14.7% (昨年12.1)、「やや苦しい」45.7% (41.5)、計60.4% (53.6)、不足額も増加しており、物価高騰等が生活に影響していることが見て取れます。

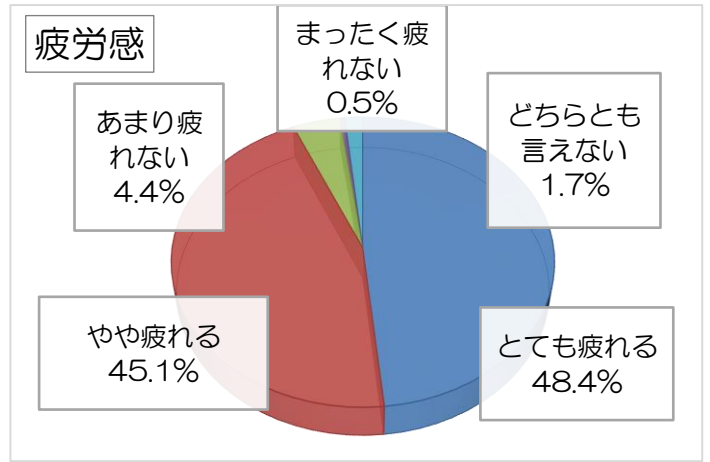


賃上げ要求額は「1万円」21.4% (昨年24.7)、「5万円」20.5% (15.5)、「3万円」20.3% (22.1)、平均31,831円 (昨年29,254円) 要求額も昨年より2,577円増となっています。時間額の賃金要求額平均は202円 (昨年188円)



普段の労働実態

疲労感は「とても疲れる」48.4%（昨年46.9）、
「やや疲れる」45.1%（46.0%）で9割以上と
高い水準が続いており、時間外労働についても
「ほとんどない」が減少し、「ある」との回答
が増加し、なおかつ長時間化しています。

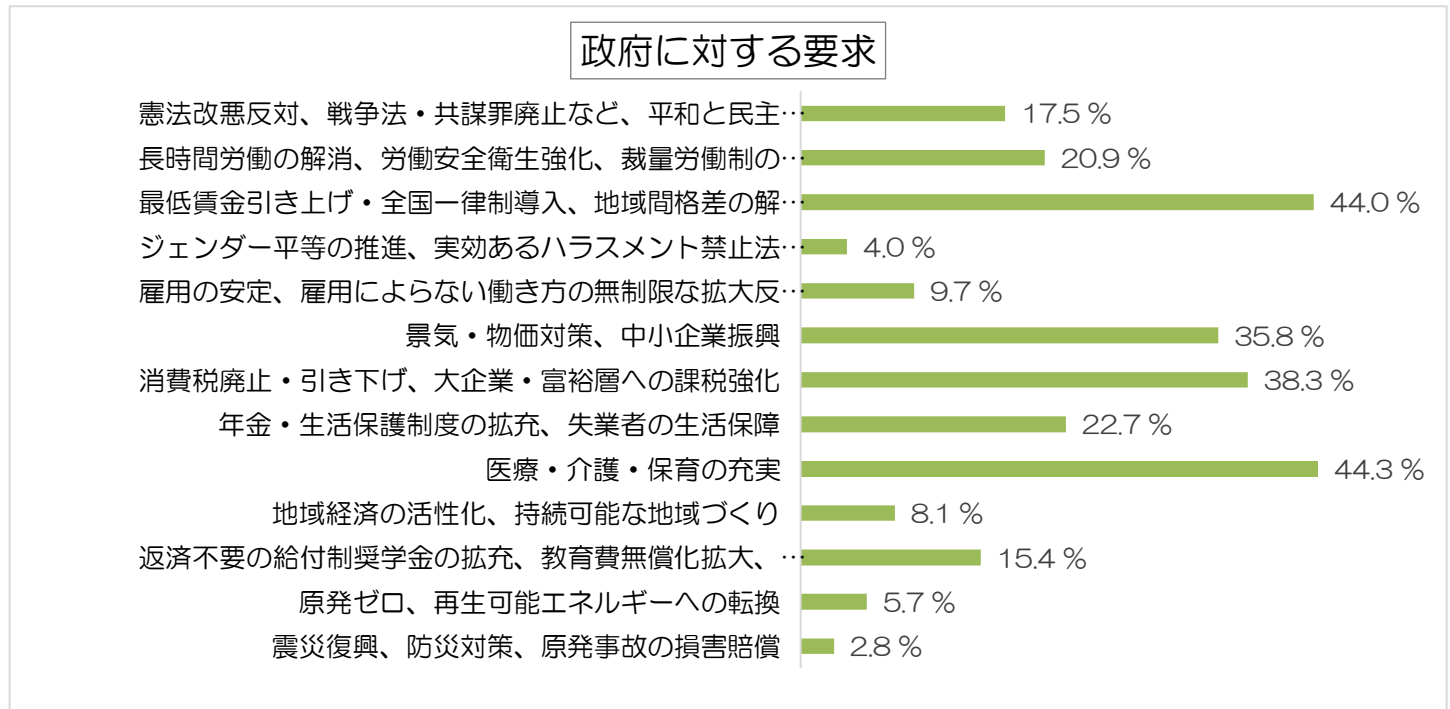


職場で不満に感じること

正職員は「賃金が安い」が変わらずトップ、非正規職員では「退職金がない・少ない」の回答がトップになりました。

	職場の不満（正職員）		職場の不満（正職員以外）	
1位	賃金が安い	60.2%(57.6)	退職金がない・少ない	38.3%(35.8)
2位	人員が少ない	44.0%(39.0)	賃金が安い	37.8%(37.1)
3位	一時金が少ない	37.4%(32.9)	正職員との賃金・労働条件の格差	23.9%(26.8)

政府に対する要求では、「医療・介護・保育の充実」44.3%（昨年46.7）、「最低賃金引き上げ…」44.0%（43.0）、「消費税廃止・引き下げ…」38.3%（36.2）、となっています。また、「景気・物価対策、中小企業振興」が昨年20.9%から35.8%と大きく増加しています。



大幅賃上げ・大幅増員で、安全・安心の医療・介護・福祉の実現、働き続けられる職場へ！

